

企画展

いわての資料目録

場所

時 間

9時

5

2021年

月

20



休館日▼5月29日(土)・31日(月)・ 6月30日(水)

はじめに

古くから伝えられる日本の民俗芸能のひとつである神楽。神座を設けて神々を勧請し、鎮魂・清め・祓いなどの祭祀を行うこの神事は、今日でも全国各地で広く行われています。

岩手県内各地にも、古くから伝わる神楽が広く根付いています。修験道の山伏によって伝承されてきた山伏神楽や神職が行う社風神楽など、特徴に応じて幾つかに分類されますが、演目や所作は一様ではなく、地域ごとに特色ある神楽が存在します。

古来より永く舞い継がれてきた神楽ですが、過疎化や後継者の問題などから、中断あるいは廃絶する神楽も多くあります。

本展では、ユネスコの無形文化遺産に登録された早池 峰神楽をはじめ、岩手に伝わるさまざまな神楽を所蔵資 料で紹介します。岩手の神楽について広く知っていただ き、理解を深める機会となれば幸いです。

最後になりましたが、開催にあたり、ご協力いただき ました関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

岩手県立図書館

凡例

1	収録	内	容

神楽の歴史、岩手の神楽、民俗芸能にまつわる資料 243 点を収録しました。

- (1)ガラスケース内展示資料 ----- 60 点
- (2)ガラスケース外展示資料 ----- 183 点

2 記載順、記載事項について

- (1)ガラスケース内展示資料は、概ね展示順、ガラスケース外展示資料は請求記号順に掲載しました。
- (2)請求記号とは、当館の整理記号(ラベル記号)です。

K914
フ1
1

K=郷土資料 KS=郷土雑誌 H=東日本大震災関連資料

J=児童書

(3)「館外貸出」の欄に"〇"が付いているものは、貸出可能な資料です。ただしガラスケース内展 示資料は、期間中は貸出できません。ガラスケース外展示資料は、期間中も貸出できます。ま た貸出中の場合は予約することができます。

目 次

▼展示資料目録

【ガラスケース内 第 1 章 神 第 2 章 い 第 3 章 早	楽のわて) 歴! [の	史 神	髤 •										1
【ガラスケース外神楽に関す神楽に関す 民俗芸能に	· る i	資料郷土	· · · 資	料										4
/参考資料														9

展示資料目録

第1章 神楽の歴史

No	書名	編著者名	出版者等	出版年	請求記号/所蔵先	館外貸出
1	日本の傳統藝能 第1卷	本田 安次∥著	錦正社	1993. 5	386. 81/ホン/1	0
2	『旧儀式図画帖』にみる宮廷の 年中行事	猪熊 兼樹 執筆	東京国立博物館	2018. 3	210. 09/1/	0
3	春日社伝神楽調査報告	春日顕彰会‖編	春日顕彰会	1975	385. 2/ 1 1/1-74	0
4	祭りと芸能の旅 5	_	ぎょうせい	1983	386. 1/₹1/5	0
5	宮崎の神楽	山口 保明‖著	鉱脈社	2000. 12	386. 8196/77	0
6	霜月神楽之研究	本田安次∥著	明善堂書店	1954	385. 7/#2/3	0
7	日本の傳統藝能 第6卷	本田 安次‖著	錦正社	1995. 1	386. 81/ホン/6	0
8	岩手の獅子頭〈権現さま〉	司東 真雄‖共編	北上史談会	1975. 11	K/387/シ1/1	0
9	国立歴史民俗博物館研究報告 第142集	_	人間文化研究機構国 立歴史民俗博物館	2008. 3	389. 105/ ₃ 2/1- 142	0

第2章 いわての神楽

第2章 いわての神楽					
No 書名	編著者名	出版者等	出版年	請求記号/所蔵先	館外貸出
10 岩手県民俗芸能誌	森口 多里‖著	錦正社	1971. 12	K/386/ŧ2/2	0
11 「鴨沢神楽」伝承活用等資料装 東·道具	〔江刺市教育委員会 ‖編〕	〔江刺市教育委員 会〕	_	K/387/I#	×
12 広報 たのはた No.610	_	田野畑村	2018. 1	KS31/⊐59	×
13 円万寺流小瀬川神楽	[小瀬川神楽保存会 編]	[小瀬川神楽保存会]	[2017]	K/386. 8122/コセ	×
14 円万寺神楽	花巻市教育委員会	花巻市教育委員会	1981. 3	K/386/n2/1	0
15 北上・花巻地方の大乗神楽調査 報告書 本編	北上市文化遺産活性 化実行委員会 編集	北上市文化財活性化 実行委員会	2018. 3	K/386. 8122/‡\$ /1	0
16 北上·花巻地方の大乗神楽調査 報告書 資料編	北上市文化遺産活性 化実行委員会 ‖ 編集	北上市文化財活性化 実行委員会	2018. 3	K/386. 8122/‡\$ /2	0
17 二子史誌	二子史誌編纂委員会 ‖編	二子町振興協議会	2010. 3	K/225. 1/フタ	0
18 和賀大乗神楽	和賀町教育委員会 ‖ 編	和歌町教育委員会	1980. 3	K/386/71/1	0
19 篠木神楽巻物	_	_	_	38/19	×
20 社風御神楽神歌言事巻	_	一ノ倉則文写	1937	38/67	×
21 社風神楽丹内舞振	小原 昇‖翻刻	小原昇	(1991)	K/768/₹1	×
22 内史略 后六	横川 良助(直胤) 川編	_	〔江戸後期〕	21. 5/1	×
23 図説盛岡四百年 上巻	吉田 義昭∥編著	郷土文化研究会	1983. 5	K/211/31/4	0
24 盛岡の指定文化財	もりおか歴史文化館 活性化グループ 編 集	もりおか歴史文化館 活性化グループ	2015. 11	K/709. 122/ŧIJ	0
25 多賀神楽事記	岩手民芸協会‖編	岩手民芸協会	1934. 11	K/386/11/1	×
26 かぐらの「わ」創刊号	_	平泉郷土館	2000. 2	KS38/ħ1	0
27 南部神楽	村上 護朗∥著	一関プリント社出版 部	1974. 6	K/386/41/1	×
28 南部神楽調査報告書	一関市教育委員会 編集	一関市教育委員会	2016. 3	K/386. 8122/ナン	0
29 小田代神楽のあゆみ	小田代神楽保存会 編集	小田代神楽保存会	2016. 11	K/386. 122/コダ	0
30 白石神楽	岡田 現三 編著	岡田現三	2006. 11	K/386. 8122/オカ	0

No	書名	編著者名	出版者等	出版年	請求記号/所蔵先	館外貸出
31	佐野向神楽創立130周年記念誌	佐野向神楽保存会創 立130周年記念実行委 員会 編	佐野向神楽保存会	1985. 6	K/386/#4	×
32	十文字神楽	佐藤 英男‖著	〔佐藤英男〕	1977	K/386. 8122/#}	×
33	岩手県八幡平市の山伏神楽	星野 岳義‖[著]	[北方風土社]	2016. 6	K/386. 8122/ホシ	×
34	盛岡の民俗芸能	盛岡市無形民俗文化 財保存連絡協議会 編	盛岡市無形民俗文化 財保存連絡協議会	1993. 9	K/386/ŧ4/1	0
35	八ツ口神楽	佐藤 信夫‖著	佐藤信夫	1984. 9	K/386/#3/3	0
36	八ツロ山伏神楽謡	_	_	_	38/17	×
37	二戸の神楽	相馬 福太郎 著	相馬福太郎	2004. 7	K/386. 8/ソウ	0
38	野神楽	東山町公民館‖編	東山町公民館	1985	K/386/t4/1	×
39	ふるさとの芸能と伝承 鵜鳥神楽	普代村教育委員会 編	普代村教育委員会	_	K/386/73/1	×
40	鵜鳥神社(卯子酉神社. うねど り様)	熊谷 儀一‖著 熊谷 文弥‖著	鵜鳥神社社務所	1990. 11	K/175/ウ1/3	0
41	鵜鳥神楽と水門	小林 栄治‖編集·文	東京都歴史文化財団 東京文化発信プロ ジェクト室	2013. 3	H/386. 8122/¬バ	0
42	広報 ふだい 号外	_	普代村	2015. 1	KS31/ ₃ 78	×
43	黒森神楽	宮古市教育委員会 編	宮古市	2008. 3	K/386. 8122/70	0
44	陸中沿岸地方の廻り神楽報告書	宮古市教育委員会 編集	宮古市	1999. 3	K/386. 8122/リケ	0
45	「陸中沿岸地方の廻り神楽」鵜 鳥神楽・黒森神楽	宮古市教育委員会 編集	宮古市	1999. 3	K/386. 8122/リケ	0
46	黒森神楽 資料編	田村 忠博‖編	宮古市教育委員会	1982. 3	K/386/\$2/1	×
47	黒森神楽 継続は力なり	川原田行雄‖編集	川原田行雄	2003. 6	K/386. 8122/カワ	0
48	黒森神楽~その歴史と信仰	_	宮古市教育委員会	2006. 5	K/386. 8122/カロ	×
49	とりら 創刊号	_	ふるさと岩手の芸能 とくらし研究会	2007. 6	KS38/12	×
50	とりら 第2号	_	ふるさと岩手の芸能 とくらし研究会	2008. 1	K\$38/\2	×
	-					

第3章 早池峰神楽

No	書名	編著者名	出版者等	出版年	請求記号/所蔵先	館外貸出
51	嶽妙泉寺文書	花巻市教育委員会 編集	花巻市教育委員会	2006. 3	K/221. 1/n†	0
52	山伏神楽·番楽	本田 安次 著	斎藤報恩会	1942. 10	K/386/#1/2	×
53	早池峰神楽文書集 1	大迫町教育委員会 編	大迫町教育委員会	1979. 3	K/386/ $ au$ 3/1-1	0
54	早池峰の賦	羽田 澄子‖著	平凡社	1984. 11	K/994/n3/1	0
55	早池峯山	菅原 隆太郎‖著	岩手日報社	1953	K/292. 12/x1/1	×
56	早池峰神楽	一ノ倉 俊一‖文	一ノ倉俊一	1984. 7	K/386/18/2	0
57	早池峰岳神楽	長澤 壮平‖著	岩田書院	2009. 3	K/386. 8122/ナガ	0
58	早池峰岳神楽の継承と伝播	中嶋 奈津子‖著	佛教大学	2013. 2	K/386. 8122/†ħ	×
59	早池峰山	_	岩手日報社	2008. 5	K/292. 11/nt	0
60	大償内神楽巻物	_	_	_	38/18	×

ガラスケース外展示資料

* 以下の資料は、展示期間中も館外貸出できます

神楽に関する資料

No	架に関する質科 書名	編著者名	出版者等	出版年等	請求記号	館外貸出
1	神と仏の古代史	上田 正昭川著	吉川弘文館	2009. 12	162. 1/יו	0
2	山岳信仰	鈴木 正崇‖著	中央公論新社	2015. 3	188. 59/ ₃ ,	0
3	講座日本の民俗宗教 6	五来 重‖〔ほか〕 編	弘文堂	1979. 11	380. 8/12/6	0
4	宮城県の神楽と舞踊	本田 安次川著	宮城県史編纂委員会	1956. 10	385. 7/#2/2	0
5	まつりと芸能の研究 第1集	田中 義広 編	まつり同好会20周年 記念刊行会	1982	386. 1/\$2/1-1	0
6	世界無形文化遺産データ・ ブック 2020年版	古田 陽久‖著	シンクタンクせとう ち総合研究機構	2020. 6	386. 8/th/2020	0
7	里神楽の成立に関する研究	石塚 尊俊‖著	岩田書院	2005. 11	386. 81/1 ⁵	0
8	無形民俗文化財の保護	大島 暁雄‖著	岩田書院	2007. 12	386. 81/オオ	0
9	お神楽	_	平凡社	2001. 10	386. 81/オħ	0
10	神楽と祭文の中世	斎藤 英喜∥編	思文閣出版	2016. 11	386. 81/ክታ	0
11	神楽	岩田 勝川編	名著出版	1990. 9	386. 81/ክታ	0
12	神楽	田中 宏‖写真と文	日本カメラ社	2012. 4	386. 81/9†	0
13	日本の傳統藝能 第2卷	本田 安次‖著	錦正社	1993. 9	386. 81/ホン/2	0
14	日本の傳統藝能 第3卷	本田 安次‖著	錦正社	1994. 2	386. 81/ホン/3	0
15	日本の傳統藝能 第4卷	本田 安次‖著	錦正社	1994. 4	386. 81/ホン/4	0
16	日本の傳統藝能 第5卷	本田 安次川著	錦正社	1994. 9	386. 81/ホン/5	0
17	新・神楽と出会う本	三上 敏視川著	アルテスパブリッシ ング	2017. 10	386. 81/\text{\sh}	0
18	神楽と出会う本	三上 敏視川著	アルテスパブリッシ ング	2009. 10	386. 81/\text{\sh}	0
19	神話の世界神楽	渡部 雄吉‖著	ぎょうせい	1992. 6	386. 81/ワタ	0
20	大土地神楽	島根県教育庁古代文 化センター 編集	島根県教育庁古代文 化センター	2003. 3	386. 8173/オオ	0
21	抜月神楽	島根県古代文化セン ター 編集	島根県古代文化セン ター	2002. 3	386. 8173/วัจ	0
22	三葛神楽	島根県古代文化セン ター 編集	島根県古代文化セン ター	2004. 3	386. 8173/วัจ	0
23	見々久神楽	島根県古代文化セン ター 編集	島根県古代文化セン ター	2001. 3	386. 8173/ミミ	0
24	口承文芸と民俗芸能	星野 岳義 著	日本評論社	2017. 2	388. 1/ホシ	0
25	世界遺産入門	古田 陽久‖著	シンクタンクせとう ち総合研究機構	2015. 5	709/th	0
26	神楽	渡部 雄吉‖著	新潮社	1988. 10	768. 22/71/1	0
27	みんなが知りたい!日本のユネ スコ無形文化遺産がわかる本	カルチャーランド 著	メイツ出版	2015. 6	J/386/ミン	0
	///// / / / / / / / / / / / / / / / /					

神楽に関する郷土資料

押 No	楽に関する郷土資料 書名	編著者名	出版者等	出版年等	請求記号	館外貸出
28	「早池峰開山・1200年」の歴	早池峰山岳会川執筆	[早池峰山岳会]	2008. 8	K/163. 1/n†	
29	<u>史・伝説を語る</u> 鵜鳥神社(卯子酉神社・うね どり様)	熊谷 儀一‖著	鵝鳥神社社務所	1997. 5	K/175/ウ1/3	0
30	第鳥神社(卯子酉神社. うね どり様)	熊谷 儀一‖著	鵜鳥神社社務所	1990. 11	K/175/ウ1/3	0
31	<u>こうなり</u> 図説盛岡四百年 上巻		—————————————————————————————————————	1983. 5	K/211/31/4	0
32	二子史誌		二子町振興協議会	2010. 3	K/225. 1/7\$	0
33	早池峰物語	大迫町教育委員会 編	大迫町	1970. 10	K/292. 12/\$2/1	0
34	早池峰の自然観察	早池峰の自然観察編 集委員会 編	日本自然保護協会	1979. 3	K/292. 12/n1/1	0
35	霊峰への誘い	芳門 申麓‖著	芳門申麓	1986. 11	K/292. 12/31/1	0
36	小田代神楽のあゆみ	小田代神楽保存会 編集	小田代神楽保存会	2016. 11	K/386. 122/コダ	0
37	神楽の芸能民俗的研究	久保田 裕道‖著	おうふう	1999. 2	K/386. 81/クボ	0
38	岳	_	国際アートコンパニ オンまつり同好会	1963	K/386. 812/ <i>\$</i> ታ	0
39	山伏神楽	_	国際アートコンパニ オンまつり同好会	1963	K/386. 812/ヤマ	0
40		十和田市教育委員会 ∥編集	十和田市	2009. 3	K/386. 8121/ナン	0
41	石鳩岡神楽・土沢神楽 調査報告書	_	花巻市教育委員会	2020. 3	K/386. 8122/イシ	0
42	一関地方のおかぐら	〔一関市民俗芸能団 体協議会南部神楽部 会‖編〕	一関市民俗芸能団体 協議会南部神楽部会	2004. 3	K/386. 8122/17	0
43	太田神楽十年のあゆみ	太田神楽十年のあゆ み編集委員会 編著	太田神楽保存会	2014. 11	K/386. 8122/オオ	0
44	白石神楽	岡田 現三‖編著	岡田現三	2006. 11	K/386. 8122/オカ	0
45	岳流浮田神楽	_	浮田神楽百周年記念 事業実行委員会	2015. 2	K/386. 8122/ガウ	0
46	金谷神楽創立百周年記念誌	金谷神楽創立百周年 記念事業実行委員会 ∥編	金谷神楽創立百周年 記念事業実行委員会	2020. 11	K/386. 8122/カナ	0
47	黒森神楽 継続は力なり	川原田行雄‖編集	川原田行雄	2003. 6	K/386. 8122/カワ	0
48	北上・花巻地方の大乗神楽調 査報告書 本編	北上市文化遺産活性 化実行委員会 編集	北上市文化財活性化 実行委員会	2018. 3	K/386. 8122/‡\$ /1	0
49	北上・花巻地方の大乗神楽調 査報告書 資料編	北上市文化遺産活性 化実行委員会 編集	北上市文化財活性化 実行委員会	2018. 3	K/386. 8122/‡\$ /2	0
50	黒森神楽	宮古市教育委員会 ‖ 編	宮古市	2008. 3	K/386. 8122/クロ	0
51	神楽とともに	佐々木 隆‖〔著〕	岩手県文化財愛護協 会	2007. 9	K/386. 8122/##	0
52	大償神楽狂言集	佐々木 敏江‖編集	佐々木裕	2017. 6	K/386. 8122/ササ	0
53	三拍子	佐藤 大輔 編著	太田神楽保存会	2014. 11	K/386. 8122/#ト	0
54	大乗神楽二子地区発表会	_	大乗神楽二子地区発 表会実行委員会	2019. 3	K/386. 8122/ダイ	0
55	大償三社大権現別当の記(しる し) 1	高橋 玲子‖古文書解 読	佐々木裕	2020. 3	K/386. 8122/身为 /1	0
56	築舘神楽35周年	二子築舘神楽保存会 ‖編	二子築舘神楽保存会	2010. 12	K/386. 8122/ツキ	0
57	築舘神楽35周年 その後の7年 間の歩み	二子築舘神楽保存会 ‖編	二子築舘神楽保存会	2017. 12	K/386. 8122/ツキ	0
58	早池峰岳神楽	長澤 壮平‖著	岩田書院	2009. 3	K/386. 8122/ナガ	0
59	南部神楽調査報告書	一関市教育委員会 ‖ 編集	一関市教育委員会	2016. 3	K/386. 8122/ナン	0

No	書名	編著者名	出版者等	出版年等	請求記号	館外貸出
60	日本神楽之巻物	佐々木 敏江 編集	佐々木裕	2013. 6	K/386. 8122/=#	0
61	早池峰神楽	_	大迫町	1993. 3	K/386. 8122/nt	0
62	早池峰神楽	_	花巻市観光課	(2010)	K/386. 8122/nt	0
63	早池峰神楽	ーノ倉 俊一∥文·監 修	川口印刷工業	2016. 9	K/386. 8122/nħ	0
64	篠木神楽	福田 武雄 編	滝沢村	1971序	K/386. 8122/フク	0
65	名目集の極意	[高橋 玲子‖解読]	佐々木裕	2012. 3	K/386. 8122/メイ	0
66	お神楽初恋巡演記	吉岡 義三‖著	ツーワンライフ(印 刷)	2009. 9	K/386. 8122/ヨシ	0
67	「陸中沿岸地方の廻り神楽」 鵜鳥神楽・黒森神楽	宮古市教育委員会 ‖ 編集	宮古市	1999. 3	K/386. 8122/リケ	0
68	陸中沿岸地方の廻り神楽 報告書	宮古市教育委員会 ‖ 編集	宮古市	1999. 3	K/386. 8122/リケ	0
69	岩手の民俗芸能 山伏神楽篇	_	岩手県教育委員会	1962. 3	K/386/13/1	0
70	郷土読本早池峰神楽物語	一ノ倉 俊一‖編	一ノ倉俊一	1977. 7	K/386/18/1	0
71	早池峰神楽文書集 1	大迫町教育委員会 編	大迫町教育委員会	1979. 3	K/386/ $ au$ 3/1-1	0
72	早池峰神楽文書集 2	大迫町教育委員会 編	大迫町教育委員会	1980. 3	K/386/ $ au$ 3/1-2	0
73	熊野派山伏八ッロ神楽	佐藤 信夫‖著	佐藤信夫	1980. 11	K/386/#3/1	0
74	「神楽秘法伝」について	佐藤 信夫 編	_	_	K/386/#3/2	0
75	八ツロ神楽	佐藤 信夫‖著	佐藤信夫	1984. 9	K/386/#3/3	0
76	日本の芸能早池峰流山伏神楽	菅原 盛一郎∥編	東和町教育委員会	1969. 3	K/386/x1/2	0
77	瀬台野系神楽口唱歌誌	瀬台野神楽保存会	瀬台野神楽保存会	1983. 10	K/386/t1/1	0
78	円万寺神楽	花巻市教育委員会 編	花巻市教育委員会	1981. 3	K/386/n2/1	0
79	本寺地区神楽の歴史	芳賀 哲夫∥著	芳賀哲夫	1992. 8	K/386/n4/1	0
80	民俗芸能ノート 第2号	東日本ハウス文化振 興事業団 組	東日本ハウス文化振 興事業団	1994. 6	K/386/t5/1-2	0
81	民俗芸能ノート 第3号	東日本ハウス文化振 興事業団 編	東日本ハウス文化振 興事業団	1995. 7	K/386/t5/1-3	0
82	岩手県民俗芸能誌	森口 多里川著	錦正社	1971. 12	K/386/ŧ2/2	0
83	記録作成等の措置を講ずべき 無形の民俗文化財「鴨沢神 楽」調査報告書	江刺市教育委員会 編	江刺市教育委員会	2001. 3	K/387/ɪサ	0
84	盛岡の指定文化財	もりおか歴史文化館 活性化グループ∥編 集	もりおか歴史文化館 活性化グループ	2015. 11	K/709. 122/ŧIJ	0
85	早池峰山の四季	高橋 亭夫∥著	岩手日報社	1992. 6	K/740/\$2/2	0
86	大償山伏神楽	佐々木 直人‖著	佐々木裕	2001. 2	K/911. 63/##	0
87	伝大ケ生山伏神楽謡本	_	大ケ生山伏神楽保存 会	2003. 12	K/911. 63/デン	0
88	鵜鳥神楽と水門	小林 栄治 編集·文	東京都歴史文化財団 東京文化発信プロ ジェクト室	2013. 3	H/386. 8122/¬バ	0
89	早池峰文化 創刊号	_	大迫町教育委員会	1988. 3	KS20/^2	0
90	早池峰文化 第2号	_	大迫町教育委員会	1989. 3	KS20/^2	0
91	早池峰文化 第3号	_	大迫町教育委員会	1990. 3	KS20/n2	0
92	早池峰文化 第4号	_	大迫町教育委員会	1991. 3	KS20/n2	0

No	書名	編著者名	出版者等	出版年等	請求記号	館外貸出
93 早池峰文化	第5号	_	大迫町教育委員会	1992. 3	KS20/n2	0
94 早池峰文化	第6号	_	大迫町教育委員会	1992. 10	KS20/n2	0
95 早池峰文化	第7号	_	大迫町教育委員会	1994. 3	KS20/n2	0
96 早池峰文化	第8号	_	大迫町教育委員会	1995. 3	KS20/^2	0
97 早池峰文化	第9号	_	大迫町教育委員会	1996. 3	KS20/^2	0
98 早池峰文化	第10号	_	大迫町教育委員会	1998. 3	KS20/^2	0
99 早池峰文化	第11号	_	大迫町教育委員会	1999. 3	KS20/^2	0
100 早池峰文化	第12号	_	大迫町教育委員会	2000. 3	KS20/^2	0
101 早池峰文化	第13号	_	大迫町教育委員会	2001. 3	KS20/^2	0
102 早池峰文化	第14号	_	大迫町教育委員会	2002. 3	KS20/^2	0
103 早池峰文化	第15号	_	大迫町教育委員会	2003. 3	KS20/^2	0
104 かぐらの「	わ」vol.0	_	平泉郷土館	_	KS38/カ1	0
105 かぐらの「	わ」vol.1	_	平泉郷土館	_	KS38/カ1	0
106 かぐらの「	わ」vol.2	_	平泉郷土館	_	KS38/カ1	0
107 かぐらの「	わ」データ編	_	平泉郷土館		KS38/カ1	0

民俗芸能に関する資料

No 書名	編著者名	出版者等	出版年等	請求記号	館外貸出
108 民俗の事典	大間知 篤三∥〔ほ か〕編	岩崎美術社	1972	380. 3/\$3/1	0
109 芸能論纂	本田安次博士古稀記 念会 ∥ 編	錦正社	1976	385. 7/#3/1	0
110 祭礼行事 岩手県	高橋 秀雄‖監修	おうふう	1992. 12	386. 1/サイ	0
111 民俗芸能入門	西角井 正大‖著	文研出版	1979. 8	386. 8/=1/1	0
112 日本の民俗芸能調査報告書集 成 1	三隅 治雄‖編集委員	海路書院	2005. 9	386. 81/= 1/4/1	0
113 災害と郷土芸能	神道国際学会‖編集	神道国際学会	2012. 11	H/386. 81/サイ	0
114 震災と芸能	橋本 裕之‖著	追手門学院大学出版 会	2015. 3	H/386. 8122/n>	0
115 森口多里論集 民俗篇	森口 多里‖著	第一法規出版	1986. 3	K/040/ t 2/2-1	0
- 116 盛岡市文化財シリーズ 第7 集	_	盛岡市教育委員会	1982. 9	K/209/ŧ7/7オ	0
117 花巻市史 別篇4郷土芸能篇	熊谷 章一‖著	花巻市教育委員会	1963. 3	K/221. 1/†1/2- 13	0
118 いわての郷土芸能	岩手日報社出版部	岩手日報社	1992	K/386/113/1	0
119 一戸町の郷土芸能	一戸町教育委員会 ∥ 編	一戸町教育委員会	1992. 3	K/386/114/1	0
120 板用肩怒剣舞史	板用肩怒剣舞保存会 ∥編	板用地域公民館	1996. 3	K/386/115/1	0
121 岩手の民俗芸能 念仏踊篇	_	岩手県教育委員会	1965. 3	K/386/13/2	0
122 岩手の民俗芸能 獅子(鹿)踊篇上巻	_	岩手県教育委員会	1969. 2	K/386/13/3-1	0
123 岩手の民俗芸能 か子(鹿)踊篇下巻	_	岩手県教育委員会	1970. 2	K/386/13/3-2	0
124 岩手の民俗芸能	岩手県教育委員会 編	岩手県教育委員会	1982. 3	K/386/13/7	0

No 書名	編著者名	出版者等	出版年等	請求記号	館外貸出
125 江刺の芸能	江刺市教育委員会 ‖ 編	江刺市教育委員会	1981. 3	K/386/I2/1	0
126 鬼柳鬼剣舞発創三十五周年記 	鬼柳鬼剣舞‖編	鬼柳鬼剣舞	1977. 9	K/386/11/1	0
127 郷土芸能	大船渡市郷土芸能協 会 編	大船渡市郷土芸能協 会	1996. 11	K/386/110/1	0
128 気仙の民俗芸能	大船渡市博物館‖編	大船渡市立博物館	1988. 3	K/386/オ7/1	0
129 わが鬼剣舞の里	門屋 光昭‖著	トリョーコム	1982. 8	K/386/ħ2/1	0
130 気仙の民俗芸能 1	金野 静一川著	陸前高田市教育委員 会	1964. 11	K/386/‡2/2	0
131 岩手の郷土芸能	沢田 定三‖著	岩手出版	1982	K/386/#2/2	0
132 雫石の郷土芸能	〒石町教育委員会 ‖ 編	雫石町教育委員会	1980. 9	K/386/92/1	0
133 紫波町の民俗芸能 第1集	紫波町教育委員会 編	紫波町教育委員会	1984. 3	K/386/>3/1	0
134 岩手の民俗芸能の音楽	鷹觜 洋一川著	熊谷印刷出版部	1980. 3	K/386/\$1/1	0
135 大東町の民俗芸能	大東町教育委員会 編	大東町教育委員会	1990. 10	K/386/ダ2/1	0
136 遠野郷青笹しし踊り	遠野市民センター文 化部 編	遠野市教育委員会	1981. 3	K/386/13/1	0
137 都南の民俗芸能 第1集	都南村教育委員会 編	都南村教育委員会	1982. 3	K/386/F4/1-1	0
138 都南の民俗芸能 第2集	都南村教育委員会 編	都南村教育委員会	1983. 3	K/386/F4/1-2	0
139 紫波町内の民俗芸能	中村 政太郎 編	紫波町教育委員会	1975. 5	K/386/†1/1	0
140 二戸地方の民俗芸能	二戸地方振興局‖編	二戸教育事務所	1988. 3	K/386/=3/1	0
141 住田の民俗芸能	根来 功範 著	住田町教育委員会	1970. 1	K/386/ネ1/1	0
142 花巻市の郷土芸能	花巻市教育委員会 編	花巻市教育委員会	1985. 3	K/386/n2/2	0
143 ふるさとのうた	ふるさとまつり実行委 員会資料編纂係 編	第4回ふるさとまつ り実行委員会	1981. 1	K/386/72/1	0
144 延年	本田 安次 著	木耳社	1969. 5	K/386/#1/3	0
145 創立20周年記念誌	藤沢 清美∥編	見前郷土芸能保存会	1987. 11	K/386/₹7/1	0
146 いさわの仮面展	水沢市教育委員会 編	水沢市教育委員会	1993. 3	K/386/\(\xi\)9/1	0
147 岩手町の民俗芸能	森口 多里‖著	岩手町教育委員会	1963. 10	K/386/ t 2/1	0
148 岩崎剣舞	和賀町教育委員会 編	和賀町教育委員会	1985. 3	K/386/71/2	0
149 岩手県の民俗芸能	岩手県教育委員会 編集	岩手県教育委員会	1997. 3	K/386. 8/17	0
150 炎の伝承	岩手県内58市町村教 育委員会 調査	北上・みちのく芸能 まつり実行委員会	1999. 8	K/386. 812/#/	0
151 青笹町しし踊り保存会結成五 十周年記念誌	青笹町しし踊り保存 会 編集	青笹町しし踊り保存 会	2015. 12	K/386. 8122/7‡	0
152 あゆみ	_	滝沢地域づくり実行 委員会	2010. 3	K/386. 8122/71	0
153 一関市民俗芸能調査報告書	一関市教育委員会 編	一関市教育委員会	2020. 3	K/386. 8122/17	0
154 祈りを舞う、暮らしを踊る 本編	大船渡市民俗芸能調 査委員会 ‖ 編集	大船渡市郷土芸能活 性化事業実行委員会	2016. 3	K/386. 8122/1/ /1	0
155 資料編	大船渡市民俗芸能調 査委員会 編集	大船渡市郷土芸能活性化事業実行委員会	2016. 3	K/386. 8122/1/ /2	0
156 岩手の民俗芸能 追補	岩手県文化財愛護協 会 編	岩手県文化財愛護協 会	1999. 3	K/386. 8122/17	0
157 岩手県の民俗芸能	岩手県教育委員会 編集	岩手県教育委員会	2011. 3	K/386. 8122/17	0
158 岩手の民俗芸能	岩手県文化財愛護協 会 編	岩手県文化財愛護協 会	1989. 6	K/386. 8122/17	0
159 岩手の民俗芸能	岩手県文化財愛護協 会 編	岩手県文化財愛護協 会	1990. 9	K/386. 8122/17	0

No	書名	編著者名	出版者等	出版年等	請求記号	館外貸出
160	百鹿繚乱	江刺鹿踊保存会 監 修	自律的まちづくりモ デル創出支援事業委 員会	2013. 11	K/386.8122/I#	0
161	大槌町の民俗芸能	大槌町文化遺産活性 化実行委員会 編	大槌町教育委員会	2016. 3	K/386. 8122/オオ	0
162	金津流獅子躍相伝記念第十代 相伝式並びに供養碑建立	_	安部修吉	2002. 6	K/386. 8122/カナ	0
163	川井村の郷土芸能調査報告書	川井村北上山地民俗 資料館 ‖ 編集	川井村教育委員会	2009. 3	K/386. 8122/カワ	0
164	北上民俗芸能総覧	_	北上市教育委員会	1998. 3	K/386. 8122/‡\$	0
165	幸呼来	盛岡さんさ踊り実行 委員会∥企画	盛岡さんさ踊り実行 委員会	2017. 12	K/386. 8122/サッ	0
166	一関地方の民俗芸能	佐藤 丕基‖共著	一関市教育研究所	1998. 3	K/386. 8122/#ト	0
167	踊躍鼓動	結成40周年記念誌編 集委員会 編集	三本柳さんさ踊り・ 都南太鼓保存会	2007. 12	K/386. 8122/サン	0
168	写真でわかる!遠野郷しし踊り 大図鑑	中野商店‖編	中野商店	2010. 6	K/386. 8122/シヤ	0
169		北上市立鬼の館 編 集	北上市立鬼の館	1999. 7	K/386. 8122/ダイ	0
170	鎮魂と芸能	_	遠野文化研究セン ター	2016. 3	K/386. 8122/チン	0
171	つなぐ	上郷しし踊り保存会 結成30周年記念誌編 集委員会‖著	中野商店	2012. 11	K/386. 8122/ツナ	0
172	わがみちのく郷土芸能	粒針 修川著	錦正社	1999. 9	K/386. 8122/ツブ	0
173	遠野の民俗芸能	〔遠野市立博物館 ‖ 編集〕	遠野市立博物館	2002. 9	K/386. 8122/トオ	0
174	遠野の郷土芸能	遠野文化研究セン ター 編集	遠野文化研究セン ター	2015. 3	K/386. 8122/トオ	0
175	平組はしご虎舞はどこから来 たのか	新沼 紀三川著	[新沼紀三]	2019. 1	K/386. 8122/=1	0
176	船久保さんさ踊り保存会40周 年記念誌	_	船久保さんさ踊り保 存会	2017. 12	K/386. 8122/7†	0
177	盛岡の民俗芸能	盛岡市無形民俗文化財 保存連絡協議会 編	盛岡市無形民俗文化 財保存連絡協議会	2010. 2	K/386. 8122/ŧIJ	0
178	盛岡の民俗芸能と先人たち	_	盛岡市文化振興事業 団盛岡市先人記念館	2009はじ めに	K/386. 8122/ŧIJ	0
179	盛岡の民俗芸能	盛岡市無形民俗文化 財保存連絡協議会 ‖ 編	盛岡市無形民俗文化 財保存連絡協議会	1999. 1	K/386. 8122/ŧIJ	0
180	谷地鬼劔舞	記念誌編集委員会 編集	谷地鬼剣舞発創百周 年記念事業実行委員 会	2010. 8	K/386. 8122/ヤチ	0
181	矢巾町の民俗芸能	矢巾町伝統文化調査 委員会 ‖ 編集	矢巾町伝統文化活性 化実行委員会	2015. 3	K/386. 8122/†n	0
182	やはばの民俗芸能	矢巾町伝統文化調査 委員会 ‖ 編集	矢巾町伝統文化活性 化実行委員会	2015. 3	K/386. 8122/†n	0
183	奥州市の文化財	奥州市教育委員会 編集	奥州市教育委員会	2016. 3	K/709. 122/オウ	0

神楽の歴史

神楽の始まり

神楽とは、基本的に神を祀るために演じられる神事芸能のことを言います。古くは神座(神霊を招いて安置する神聖な場所のこと)を設けて神々を勧請し、招魂や鎮魂といった神事を行っていました。民俗学者の折口信夫によると、この「神座(かむくら)」が「かんぐら」「かぐら」と変化していき「神楽(かぐら)」という現在の呼称になったとされています。

■ 御神楽

神楽は、宮中で行われる「御神楽」と民間で行われる「里神楽」の二つに分類することができます。養婦4年(1002)にはじまったとされ、現在も行われている内侍所御神楽は、天皇即位の大嘗祭に催される琴歌神宴や、鎮魂祭、園韓神祭の神楽、賀茂臨時祭還立の神楽、石清水八幡臨時祭の神楽などの古神楽が母胎となり、整理・統合した形で成立したものと言われています。現在は元になった古神楽はすべて廃絶していますが、この内侍所御神楽のみが途絶えることなく現在に受け継がれています。

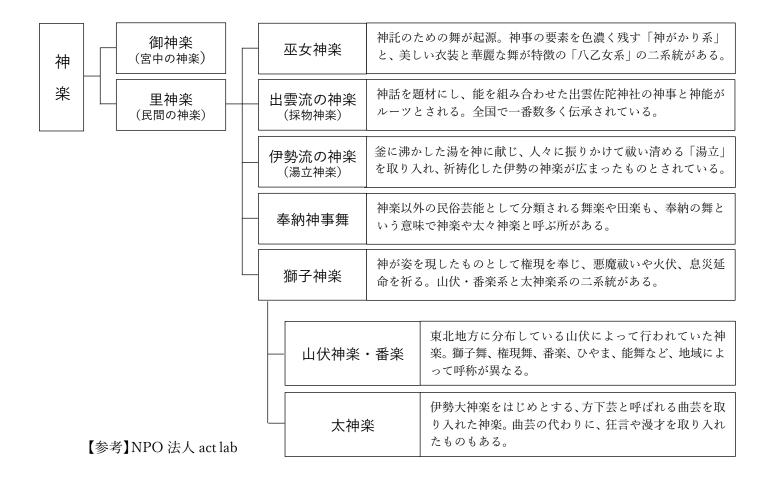
内侍所御神楽は、毎年十二月中旬に宮中覧所の前庭に庭火を焚いて行われます。神楽歌をうたうことが主で、舞は採物の部の最後にある「草韓神」と雑歌の部の「箕騎」のみにあり、神楽の進行役である人長が輪をつけた榊の枝を持って舞います。

御神楽が作られた平安時代には、公家・殿上人に地下の楽人が加わり舞が夜通し行われていましたが、現在は宮内庁楽部の楽師が奉仕し、時間や曲目は簡略化されています。

■ 里神楽

宮中において限られた人々のみで継承されている御神楽に対して、巫女・神主・山伏といった宗教者や、民間の人々によって広く伝えられてきたのが里神楽です。里神楽は「巫女神楽」「出雲流の神楽(採物神楽)」「伊勢流の神楽(湯立神楽)」「奉納神事舞」「獅子神楽」の5つに分類することができ、その舞振りや衣装、道具などはそれぞれの神楽によって異なります。地域に根付いた神楽として、その地域の特色や歴史を反映したものもあります。

現在でも全国に多くの里神楽が継承されていますが、いつごろから民間で神楽が行われるようになったのか、その起源ははっきりしていないようです。



~第2章~

いわての神楽

数多くの民俗芸能が伝承されている岩手。平成23年の調査では、岩手県全体で1,126の 民俗芸能が確認されています。なかでも神楽は、鹿踊や剣舞に次いで多く伝承されています。 民俗学者の森口多里によると、民俗芸能が成立し、存続していく条件として「自然的条件」 「歴史的条件」「社会的条件」及び「媒質としての俗信」があると言います。

岩手県は、古来霊峰と謳われた早池峰山や岩手山、姫神山を擁していたことから、多くの山伏たちが活動していました。また、神道を厚く信仰した 10 代盛岡藩主・南部利敬の存在や、明治初頭の神仏分離による修験道の衰退も、岩手の神楽の変遷をみる上では欠かせない歴史的な条件です。さらに、北上川沿いの穀倉地帯や三陸海岸といった豊かな自然を背景に、農業、漁業が盛んであることから、豊作、大漁を神に感謝し祈願するという背景が、神楽が

今日まで受け継がれてきた大きな要因となっています。



『岩手県民俗芸能誌』

森口多里 // 著 錦正社 1971 年 奥州市水沢出身の民俗学者・森口多 里が岩手県内の民俗芸能について調査 したもの。広大な県土をもつ岩手県の民 俗芸能を網羅的に採集し、論考している 貴重な資料である。

山伏神楽

岩手では、神楽が最も多く無形民俗文化財に登録されておりそのなかで最も多く伝承されているのが山伏神楽です。ユネスコの無形文化遺産に登録されている花巻市の早池峰神楽や、国の重要無形民俗文化財である宮古市の黒森神楽、普代村の鵜嶌神楽はいずれも山伏神楽に分類されます。

山伏神楽は獅子頭を権現として奉るのが特徴です。権現とは、神仏が依り代を介して 現世に現れることを言います。獅子頭を用いて舞う権現舞は山伏神楽において最も重 要なもので、神仏の超越的な力で災いを祓い、火伏、五穀豊穣、無病息災など人々の安 泰を祈祷します。

岩手県の山伏神楽は、中世期頃、各地を旅し修行する山伏から伝えられたといわれています。詳しい由来は不明ですが、早池峰山などが霊山として修験道の霊場になっていたこと、北上盆地から岩手山麓地方に羽黒山や熊野山などの祠を立て祀った山伏がいたことなどが理由ではないかとされています。

■ 黒森神楽 [国指定重要無形民俗文化財] (宮古市)

宮古市の黒森神社に継承されている山伏神楽です。黒森神楽は、修験者のカスミ(修 験道における地域ごとの支配・管轄地域)廻りの伝統を神楽巡行によって現代に受け継 ぐ数少ない神楽集団として知られています。

神楽は黒森神社の神霊を移した獅子頭を携えて陸中沿岸の家々を廻り、庭先で権現舞を舞い悪魔祓いや火伏の祈祷を行います。夜は宿となった民家の座敷に神楽幕を張り 夜神楽を演じて、五穀豊穣・大漁成就や天下泰平などの祈祷の舞を行い、人々を楽しま せ祝福をもたらしています。こうした広範囲で長期にわたる巡行を行う神楽は、全国的 にも類例がなく、いにしえの習俗が現在も継続されているたいへん貴重なものです。 同じく神楽巡行を現在に伝える普代村の鵜鳥神楽とともに、国の重要無形民俗文化財 に指定されています。

■ 鵜鳥神楽 [国指定重要無形民俗文化財](普代村)

普代村に伝承されている山伏神楽です。「三拍子」という荒々しく速いリズムに乗り、勇壮かつダイナミックに舞うのが特徴です。演目は50ほどもあると言われていますが、現在ではすべてが演じられているわけではないようです。正月の8日にその年の巡行の舞立ちが行われるほか、旧暦の4月8日に鵜鳥神社の例大祭で神楽の奉納が行われています。

鵜鳥神楽は、鵜鳥神社にある獅子頭を権現様として携え、毎年 1 月から 3 月にかけて三陸沿岸の広域を一年おきに北廻りと南廻り交互に廻ります。この神楽の巡行は、宮古市の黒森神楽と並んで全国的に類例を見ない貴重なものです。平成 7 年 (1995) には「陸中沿岸地方の廻り神楽」として黒森神楽とともに国の「記録作成等の措置を講ずべき無形文化財」に選定され、その後平成 23 年 (2011) には岩手県指定無形民俗文化財となっています。



黒森神楽

[写真提供:(一社) 宮古観光文化交流協会]



鵜鳥神楽

[写真提供:普代村役場 農林商工課]

だいじょう 大乗神楽

北上・花巻の旧和賀地方に多く伝わる神楽です。法印神楽(山伏神楽の一種。舞台中央に 大乗と呼ばれる天蓋を下げて行う)の影響を受け、手の振付や踏み足、九字(加持祈祷の 作法)など、修験道の呪法を取り入れ祈祷色を強く残しているのが特徴です。舞の中には、 7日間にわたって特別な修行をし、法印の資格を得た者しか舞うことができないものもあ ります。

大乗神楽は、早池峰神楽と同じく山伏神楽の一種ですが、演目の名称も舞い方も全く異なります。北上市の和賀大乗神楽は、昭和49年(1974)に花巻市の円万寺神楽とともに「山伏神楽」として県指定無形民俗文化財に登録されました。しかしその後、神楽に対する調査・研究が進展し、山伏神楽と大乗神楽の系統の違いが明らかになったことから、一度登録を解除して「花巻の山伏神楽」と「和賀の大乗神楽」に区別し、指定し直されています。

■ 和賀大乗神楽「県指定無形民俗文化財」(北上市)

北上市和賀町展落に伝えられる神楽です。元は 600 年以上前に同市の貴徳院で始まった「貴徳院法印神楽」とされます。慶応の末、佐藤寅次郎が萬法院という山伏から手ほどきを受け、久しく途絶えていた貴徳院法印神楽を再興させたことが、現在の和賀大乗神楽のはじまりといわれています。

山伏神楽の一種ですが、修験の呪法の名残が強く、舞振りに神秘的な雰囲気を醸し出しています。

■ 宿 大乗神楽 [県指定無形民俗文化財](北上市)

北上市二子町で宿集落に伝わる神楽です。もともとこの地区には山伏神楽に由来する権現舞がありましたが、明治 30 年(1897)に村崎野の妙法院和田永全が旧二子村下宿の八幡宮宮司・千田行全に大乗神楽を伝えたことから宿大乗神楽が始まったとされています。

みゃぶり 社風神楽

神道を厚く信仰した 10 代盛岡藩主・南部利敬は、社家の行う神楽に「社風神楽」という 名称を付けました。社家とは神職を世襲する氏族のことをいいます。つまり修験道の山伏神 楽とは異なる、神道の神楽ということです。

社風神楽の代表的なものには、盛岡市の大宮神社に伝わる大宮神楽や、滝沢市の田村神社

に伝わる篠木神楽があります。社風神楽は神道の神楽ではありますが、大宮神楽や篠木神楽は、演目や舞振りなどに古い山伏神楽と共通の部分がみられ、修験道との関連性もうかがえます。一方で、二戸市の呑香稲荷神社に伝わる神代神楽のように、修験道色が払拭されているものもあります。

明治初頭に修験禁止令が政府から発布されたことにより、修験系の権現社や権現宮は神社として活動するようになります。その過程で、もとあった山伏系の神楽を改め、神職系の社風神楽にしたということもあったようです。



「篠木神楽」より「三方荒舞」 [写真提供:滝沢市教育委員会文化振興課]



『篠木神楽巻物』底本:安永2年 「当館所蔵】

■ 篠木神楽「県指定無形民俗文化財」(滝沢市)

滝沢市篠木の田村神社に伝わる社風神楽です。社風(社家=神職)の神楽のとおり、 田村神社社家の斎藤氏に代々伝えられてきました。

斎藤氏はその歴史の中で玉山村の修験・西福院との間で諍いがあったことから、篠木神楽は、修験道の山伏神楽とは一線を画すものとして社風神楽に分類されています。

しかしながら権現舞に「胎内巡り」らしい舞振りが見えるなど、古い山伏神楽の要素 も見受けられます。

江戸舞神楽

文化3年(1806)、神楽に都会的芸風の導入を求めた10代盛岡藩主・南部利敬の命により、大清水の多賀金毘羅神社の神職・山田吉穂と神楽社人が一年間江戸へ留学し、江戸神楽を習得しました。古い江戸の里神楽から学んだ江戸舞は、神楽歌やセリフなどはほとんどなく、身振り手振りによる無言の所作だけで筋を運ぶのが特徴です。

多賀神社にはもともと山伏系の多賀神楽がありましたが、能や狂言の要素を随所に取り入れた「多賀神楽 江戸舞」は市井で人気を博し、次第に江戸舞神楽の印象を強めていきます。多賀神社の江戸舞神楽は、盛岡藩が廃藩になるまで南部家公儀の神楽として伝えられま

す。明治以降は、伝承者を何度かなくしながらも、盛岡市の指定文化財に登録されるなどして保存に努めていましたが、昭和 51 年(1976)に最後の継承者が没して以来途絶えています。



『内史畧 后六』

横川 良助//著〔江戸時代後期〕 10 代盛岡藩主・南部利敬が多賀神社の 山田伊豆(山田吉穂)に江戸で神楽を学 ばせたことについては、盛岡藩の歴史資 料『内史畧』に記載がある。 神道に厚か った利敬は、歴代南部藩主の中で最も神 事につとめたといわれている。

■ 多賀神楽(盛岡市)

多賀神楽の舞振りを現在に伝えるものとして、神楽の演目を描いた 12 枚の絵額があります。絵額は、元は多賀神社の御旅所(神社の祭礼において御神体を乗せた神輿が巡行の途中で休憩または宿泊する場所)であった榊山稲荷神社に奉納されていましたが、のちに大宮神社に移されて現在に至ります。

多賀神楽に江戸舞を導入した山田吉穂は、作家・山田美妙の先祖に当たります。

南部神楽

岩手県南、旧伊達藩領に継承されている神楽です。古くから行われていた法印神楽や山伏神楽に、地域の農民らの手によって奥浄瑠璃や伝説などの説話から取り入れた狂言風の劇舞が組み込まれ、新たに生み出されたものと言われています。

本来、神楽は宗教者だけが行う特別なものでした。しかし、明治初頭の修験道廃止をきっかけに、旧伊達藩領で山伏(法印)たちの力が弱まります。するとそれまで密かに法印たちの神楽を真似て舞っていた農民たちは、自由に里神楽を組織するようになります。演目に工夫を凝らし、従来の神楽を自由な感性で独自の神楽に作り上げていったのです。南部神楽は、その成り立ちから、式舞(神々に奉納する演目)や舞台装置等に山伏・法印神楽の宗教性を残しながらも、劇舞(式舞以外の演目)では舞手がセリフを高らかに唱えるなど娯楽性に富んだ面も併せ持つのが特徴です。民俗学者の森口多里は、その特徴をもって「セリフ神楽」と称しています。





布佐神楽

[写真提供:一関市教育委員会 文化財課]

■ 布佐神楽「県指定無形民俗文化財」(一関市)

一関市川崎地区に伝わる神楽です。文久 3 年(1863)に同市相川地区から伝わったのが始まりとされます。のちに同市東山町松川の法印から法印神楽を学び「養津記神楽」の巻物を伝授され、今日に継承される芸風の基礎が培われました。その後、式舞を充実させ、劇舞に源平盛衰記や曽我兄弟夜討などの説話を神楽向けに脚色して加えたことで娯楽性が高まり、南部神楽として現代に引き継がれています。

早池峰神楽

山岳信仰

山岳信仰は、山に対して畏敬の念を抱き、神聖視して崇拝し儀礼を執行する信仰形態です。 国土の約3/4を山地が占める日本では、各地で山を祀り、祈願して、祭祀芸能が奉納されま した。

かつて山は、人々の暮らしとともにありました。山麓の農民にとっては水分の山であり、 農業の根幹である水をもたらす源として崇拝されました。ドングリや栃の実、キノコなど食 材も豊富で、山は実り豊かな富をもたらす生産の原点でした。また、森林は家屋の建築資材 の供給源であり、薪炭の原材としても貴重な資源でした。

山岳を神聖視する観念には、死者の霊魂が赴く場であるという山中他界観もあります。仏教の影響も考えられますが、それ以前に死者を埋める墓が山の奥深くに定められていたことも関連すると考えられます。また、山は魑魅魍魎・鬼・天狗・山姥などが棲む異界でもあり、狼・猿・鹿・狐・狸などの動物は異界や他界の山から現れる神のお使いと考えられました。

修験道

修験道とは、日本古来の山岳信仰が、仏教・道教・神道などの影響を受けながら鎌倉時代 初期に成立した宗教のひとつです。修験道の実践者は、修験者あるいは山伏と呼ばれます。 修験者・山伏は、霊山で修業を積み、それによって得た験力(加持祈祷などの効果)に基づ き宗教活動を行います。

山伏神楽は布教の手段としても舞われました。山伏神楽という名称は昭和初期に本田安次が『山伏神楽・番楽』(1942)を出版した折に名づけられたものです。

加持祈祷を中心に、災厄を除き五穀豊穣・福徳を招来しようとする修験道は、冷害凶作に 見舞われ続けた人々に特に期待されました。また、医術を身につけ諸国の文化芸能に精通し た修験者・山伏によって文化流入が広範にもたらされました。

明治政府による神仏分離策・雑宗排除策によって明治5年(1872)に廃止されましたが、 戦後、宗教法人格を取得するなどして活動を再開しています。

早池峰山

早池峰山は、北上山地のほぼ中央にそびえる標高 1,917m の主峰です。地理的には、花巻市大迫町、宮古市川井、遠野市の三つの地域に囲まれており、その各地に 4 つの登山口があります。

早池峰山は古名を東根嶽 (東根岳) といい、中世の時期に早池峰という山名になったと伝えられています。

開山にまつわる伝説では、大同 2 年(807)大迫の田中兵部という者が、額に金の星のある白鹿を追って山頂にたどり着き霊告を受けて開山したと伝えられています。

古代から山岳信仰の霊場として、人々の信仰を集める御山でした。その信仰範囲は、北上山地の旧盛岡藩領全域と陸中沿岸、旧仙台藩領の胆江地方などに及んでいました。また、修 験道の道場として栄え、往時にはかなりの数の宿坊があったといわれています。この修験者 たちによって、早池峰神楽が伝承されてきたといわれています。

早池峰神楽

早池峰神楽は、早池峰山の麓、花巻市大迫町内川目地区の岳集落に伝わる岳神楽と、大償集落に伝わる大僧神楽の二つの神楽座の総称です。早池峰山を霊場とする修験者・山伏たちによって代々舞い継がれてきました。少なくとも 500 年以上の伝統を持つ非常に古くから伝わる神楽といわれています。

演目はどちらも、呼称の違いはあってもほぼ同じで、四十番以上伝承されています。最初に「打ち鳴らし」という神降ろしの儀式を行い、その後、六番で構成される式舞を舞います。 式舞が終わると、神舞・女舞・荒舞・番楽舞などの演目の中から数番選んで舞い、ときには 狂言を入れます。演目は、短いもので 15 分ほど、長いものは 40 分以上になります。最後 は必ず権現舞で締めくくられます。

舞の中に能大成以前の古い民間芸能の要素を残していることから、中世芸能を伝える稀有な神楽として、昭和51年(1976)5月4日に国の重要無形民俗文化財に指定され、平成21年(2009)9月30日にはユネスコ無形文化遺産に登録されました。

■ 岳神楽

岳神楽は、岳集落にある早池峰神社の奉納神楽です。岳集落は、早池峰山麓の西南の 登り口に位置します。

舞は5拍子で舞われ、テンポが早く勇壮と評されます。舞台に張る幕の模様は「向い

鶴」です。

下閉伊郡の小国から常楽なる法印が伝えたとも、宮古の鎌津田左京なる法印が伝えたともいわれています。岳の早池峰神社には文禄4年(1595)銘の権現頭があります。

■ 大償 神楽

大償神楽は、大償集落にある大償神社の奉納神楽です。大償集落は、岳集落より南西 に 15km ほど下った、岳川に流れ込む沢沿いに位置します。

舞は7拍子で舞われ、テンポが緩やかで優雅と評されます。舞台に張る幕の模様は「菊」と「桐」です。

早池峰山の開祖田中兵部の創立した田中明神の神主によって大償の別当に伝えられたといわれています。長享2年(1488)の銘のある神楽伝授書があります。

ユネスコ無形文化遺産

ユネスコは、国連の教育・科学・文化分野の専門機関です。人類の知的、倫理的連帯感の上に築かれた恒久平和を実現するため、1946年に設立されました。加盟国は現在195カ国、10の地域が準加盟となっています。

無形文化遺産に登録される分野は、伝承、芸能、儀式、祭事、伝統工芸等です。登録される条件として、「無形文化遺産の認知、重要性に対する認識を確保し、対話を誘発し、世界的に文化の多様性を反映し且つ人類の創造性を証明することに貢献するものであること」「保護し促進することができる保護措置が図られていること」等を満たす必要があります。

登録されると、国は無形文化遺産について、保護するための国際的な協力・援助の体制を確立し、教育し、保護する能力を形成する活動等に努めることになります。また、保護活動の中で、無形文化遺産を創出・維持・伝承する、社会・集団・個人のできる限り広範な参加を確保するよう努めなければなりません。

主な参考文献

【第1章 神楽の歴史】

- *『日本民俗大事典 上・下巻』 福田アジオ[ほか]/編 吉川弘文館 2000
- *『日本国語大辞典 第3巻 小学館国語辞典編集部∥編集 精選版』 小学館 2006
- *『日本の傳統藝能 本田安治著作集 第1巻』 本田安治/著 錦正社 1993
- *『神と仏の古代史』 上田正昭/著 吉川弘文館 2009年
- *『新・神楽と出会う本 歌・楽器・お囃子』 三上敏視/著 アルテスパブリッシング 2017 年

【第2章 いわての神楽】

- *『岩手県民俗芸能誌』 森口多里∥著 錦正社 1971
- *『民俗の事典』大間知篤三/〔ほか〕編 岩崎美術社 1972
- *『早池峰神楽 増訂版』一ノ倉 俊一//文・監修 中村 良幸//文・監修 黒沼 幸男//撮影 黒沼 寿夫//撮影 佐々木 秀勝//撮影 郷土文化研究会//編集 川口印刷工業 2016
- *『早池峰岳神楽の継承と伝播』中嶋 奈津子√著 佛教大学 思文閣出版(発売) 2013
- *『山伏神楽・番楽 復刻版』 本田安次∥著 井場書店 1971
- *『日本之芸能早池峰流山伏神楽 復刻版』菅原 盛一郎/著 東和町教育委員会 1987
- *『神楽の芸能民俗的研究』久保田裕道∥著 おうふう 1999
- *『日本の民俗 3 岩手』森口多里∥著 第一法規 1976
- *『岩手県の教育史』長岡高人∥編著 思文閣出版 1986
- *『岩手県指定無形民俗文化財 黒森神楽 継続は力なり』 川原田行雄/編集 2003
- *『南部神楽』村上護朗∥著 一関プリント社出版部 1974
- *『一関地方のおかぐら 南部神楽台本(詠儀本)集』〔一関市民俗芸能団体協議会南部神楽部会 /編〕一関市民俗芸能団体協議会南部神楽部会 2004
- *『盛岡市文化財シリーズ 第7集 盛岡の民俗芸能』盛岡市教育委員会 1982
- *『図説盛岡四百年 上巻』吉田 義昭/編著 及川 和哉/編著 郷土文化研究会 1983
- *『岩手の民俗芸能 山伏神楽篇』岩手県教育委員会 1962
- *『祭りと芸能の旅 1 北海道・東北』本田安次∥編集 渡辺伸夫∥編集 ぎょうせい 1978
- *『かぐらの「わ」創刊準備号 vol.0』平泉郷土館 1999

【第3章 早池峰神楽】

- *『早池峰山いわての名峰徹底ガイド』岩手日報社 2008
- *『日本民俗事典』 大塚民俗学会∥編 弘文堂 1978
- *『精選日本民俗辞典』 福田アジオ ほか∥編 吉川弘文館 2006
- *『岩手百科事典 新版』 岩手放送岩手百科事典発行本部/編 岩手放送 1988
- *『早池峰岳神楽の継承と伝播 佛教大学研究叢書 18』 中嶋奈津子∥著 佛教大学 2013
- *『修験道小事典』 宮家準∥著 法藏館 2015
- *『山岳信仰 日本文化の根底を探る』 鈴木正崇∥著 中央公論新社 2015
- *『早池峰神楽』 一ノ倉俊一//文 大迫町観光協会//編 1984
- *『早池峰神楽 神楽鑑賞ガイド ユネスコ無形文化遺産登録国指定重要無形民俗文化財』 花巻市観光課 〔2010〕
- *『早池峰神楽 国指定重要無形民俗文化財』 大迫町 1993
- *『みんなが知りたい!日本のユネスコ無形文化遺産がわかる本』 カルチャーランド/著 メイツ出版 2015
- *『世界遺産入門 平和と安全な社会の構築』古田 陽久/著 古田 真美/著 世界遺産総合研究所 //企画 編集 シンクタンクせとうち総合研究機構 2015
- *『世界無形文化遺産データ・ブック 2020 年版』古田 陽久//著 世界遺産総合研究所//企画 編集 シンクタンクせとうち総合研究機構 2020

参考ウェブサイト

- *『いわての文化情報大事典』http://www.bunka.pref.iwate.jp/
- *『ジャパンナレッジ Lib』https://japanknowledge.com/library/

展示資料目録

いわての神楽

発行日 令和3年5月15日 発行者 岩手県立図書館

〒020-0045

岩手県盛岡市盛岡駅西通 1-7-1 いわて県民情報交流センター·アイーナ内 TEL 019-606-1730 FAX 019-606-1731 HP アドレス http://www.library.pref.iwate.jp/